



## 九州大学箱崎キャンパス内で石積み遺構を発見 — 元寇防塁か？ —

現在、本学埋蔵文化財調査室では、箱崎キャンパス内において、九州大学統合移転事業にともなう埋蔵文化財調査を進めています。

中央図書館の南脇地点で発掘調査をおこなったところ、加工痕のある大型角礫を直線状に並べた石積み遺構が発見されました。博多湾の旧海岸線に並行して南北 17m 以上残っており、裏込石をかませて角礫を 3 段以上積み上げた部分もあります。発見された石積み遺構は、場所や構築方法などから、文永の役（1274 年）後、蒙古襲来に備えて薩摩国が造営分担したとされる元寇防塁の一部である可能性が高いと考えられます。

福岡市東部では、ここまで保存状態が良好な元寇防塁が発掘調査・記録された事例はほかにありません。本遺構は福岡市東区箱崎の貴重な文化遺産であり、日本の歴史を代表する遺跡である可能性が非常に高いものです。

### 【記者発表】

日 時 平成 28 年 9 月 20 日（火）

15 : 00～16 : 00

場 所 中央図書館 1 階会議室

説明後、発掘調査現場へ移動

（下図参照）

説明者 九州大学埋蔵文化財調査室

室長 宮本一夫

※台風の接近状況によっては延期する場合があります。

不明な点は問い合わせ先へご確認ください。



遺構検出状況（北東から）



記者発表会場及び発掘調査現場の位置

【お問い合わせ】九州大学企画部統合移転推進課企画調整係（森田、矢野）

電話：092-642-7135, 7645 FAX：092-642-7373

Mail：fukuda@lit.kyushu-u.ac.jp（埋蔵文化財調査室 福田）